

平成二十六年 年頭に当たって



高梁市議会議長
小林重樹

市民と共に より良い高梁を！

明けましておめでとうございます。皆さまには、ご家族おそろいで穏やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、政府の経済対策（アベノミクス）により日本経済に回復の傾向がみられ、個人消費も次第に拡大するなど、明るい兆しを感じる年でもございました。

また、2020年の東京オリンピック開催の決定や富士山の世界文化遺産登録、また、日本食文化のユネスコ無形文化遺産への登録など、世界に誇れる話題もございました。

こうした中、TPP交渉参加など国際的には、非常に重要な局面を迎えた年でもございました。

市民の皆さまが合併してよかったですと感じただけでなく、更なる市民福祉向上のため、努力してまいる所存でございますので、一層のご理解、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆さま方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます、年頭のご挨拶いたします。



高梁市長
近藤隆則

高梁のさらなる発展と 明るい未来に向けて

明けましておめでとうございます。皆さまには、清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は国内外で自然の猛威を目の当たりにした1年でした。猛烈な台風のリビリン直撃、伊豆大島の土石流災害、本市でも9月の豪雨で甚大な災害が発生しました。被災された皆さまには、あらためてお見舞いを申しあげ、復旧に向け全力で対応いたします。

一方で2020年の夏季五輪・パラリンピックの東京開催決定やデフレから脱出して景気回復の兆しが見えてくるなど、明るい未来を期待させる年でもありました。

さて、今年のは甲午（きのうま）です。「午」の活発な行動力に、「甲」の伸びる・発展する性質が加わり、何事においても発展、前進していく年になるといわれています。

本市においては、新市庁舎や高梁市民プールの建設が進むほか、JR備中高梁駅のバリアフリー化とその周辺整備の工事にも着手します。街の中心部の姿が大きく変化することになります。皆さまのご意見を十分に取り入れて都市機能の充実を図っていきたく考えています。

さらに、定住対策の充実や幼保一体化、地域の自主的な取り組みへの支援などの施策を引き続き展開するとともに、観光・スポーツ交流人口100万人を目標に、観光アクションプランの充実や景観・歴史を生かしたまちづくりを推進していきます。郷土の偉人、山田方谷先生の功績をより多くの人に知っていただく顕彰活動も充実していきます。

また、なでしこリーグ参戦2シーズン目を迎えるFC吉備国際大学シャルムの活躍にも大いに期待しており、市民の皆さまと熱い声援を送っていきたく思っています。

最後に、本市は10月1日に市町合併から10周年を迎えます。この記念すべき年が皆さまにとって、そして本市にとって、飛躍の年になりますことを祈念し、今後とも市政に対するいっそうのご支援ご協力をお願い申し上げます。